

International College of Surgeons Japan Section



2007. No.1 (平成19年)

国際外科学会日本部会ニュース

一般外科 消化器外科 心臓血管外科 胸部外科 産婦人科 整形外科 泌尿器科
脳神経外科 頭頸部外科 形成外科 小児外科 耳鼻咽喉科 眼科 皮膚科 口腔外科 麻酔科等
「すべてメスを持つ者」の会

CONTENTS

※ 会長挨拶

日本部会関連

1. 第53回日本部会総会

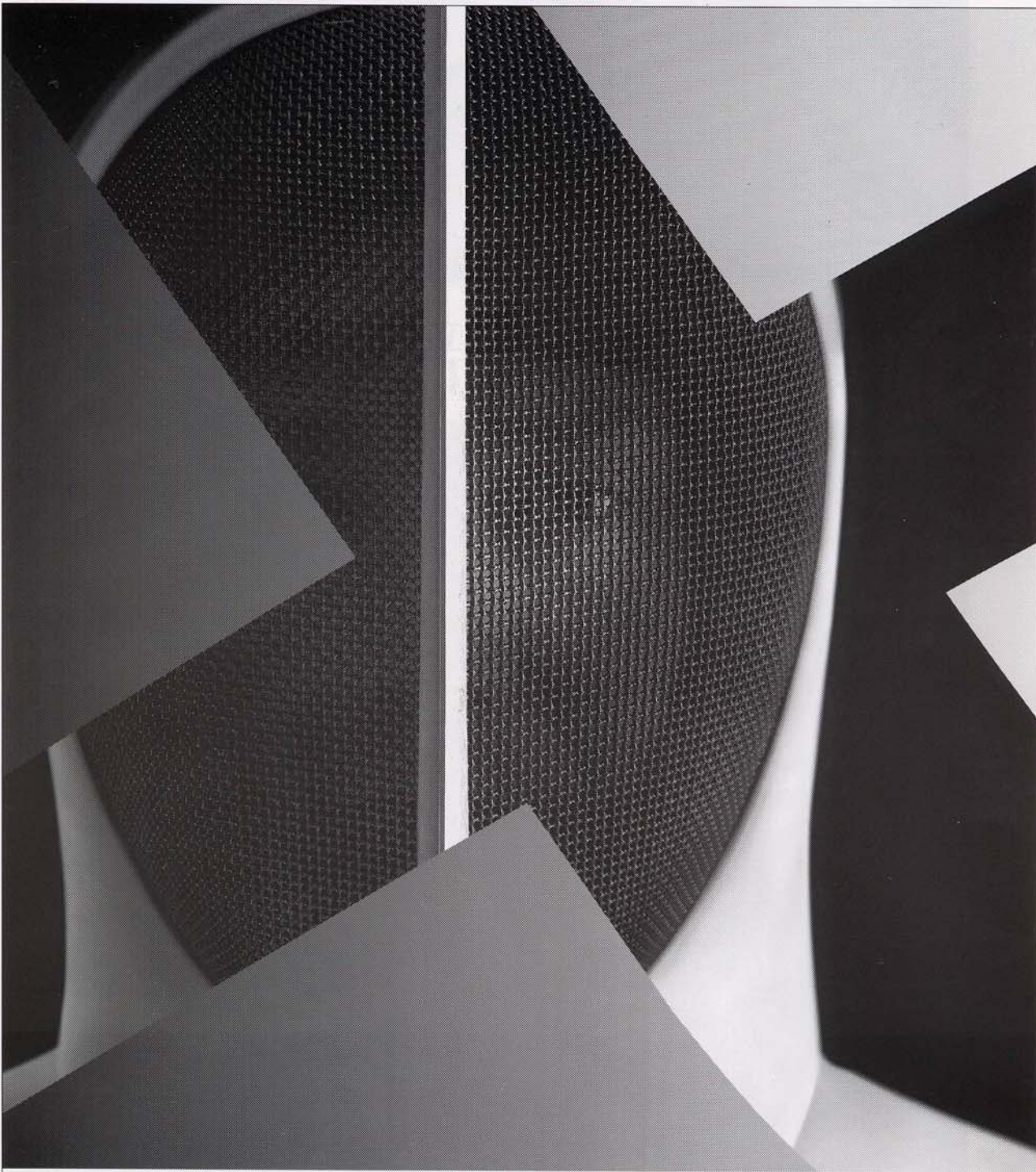
- (1) 総会の様子
- (2) 議事録報告
- (3) 会計報告
- (4) “2007 Young Investigator Award” 受賞者
- (5) 第54回国際外科学会日本部会総会のご案内
- (6) 日本部会役員・各種委員会 (2007-2008)
- (7) 日本部会定款

シカゴ本部関連

1. 第36回世界総会

2. シカゴ本部役員

3. “The ICS Asian & Pacific Federations Section” 報告



カルバペネム系抗生物質製剤 ————— 指定医薬品、処方せん医薬品^{注1)} 薬価基準収載

 **フィニバックス**[®] 点滴用0.25g
キット点滴用0.25g

FINIBAX[®] (注射用ドリベネム水和物 略号: DRPM)
注1) 注意—医師等の処方せんにより使用すること

■「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌」、
「原則禁忌」、「使用上の注意」等につ
いては添付文書等をご参照下さい。

製造販売元 [資料請求先]



シオノギ製薬

大阪市中央区道修町3-1-8 〒541-0045
電話 0120-956-734 (医業情報センター)
<http://www.shionogi.co.jp/med/>

ご挨拶

日本部会 会長 高崎 健



去る6月に国際外科学会日本部会と第17回Asia-Pacific Federationとの合同学術集會を山岸久一先生(京都府立医科大学学長)の主催で、現ICS会長 Dr. Fidel Ruiz Healy (Mexico)そして次期会長のProf. Christopher Chen (Singapore)、Executive council memberであるDr. Jose Miguel Alvear(Ecuador)、本部事務局長のMr. Max Downhamその他をお招き盛會でありました。山岸会長に深く御礼申し上げます。今回山岸会長のご援助によりアジア各国からも若いドクターが出席されており、交流の場を持たた事は喜ばしいことでありました。重ねて会長に感謝いたします。

現在シカゴ本部の学会運営方法も多少の変革が必要となっております。本年は1月、3月、7月、10月とすでに4回のExecutive council meetingが開催されておりますが、問題が山積であります。毎回2日間朝から夕方までびしりと議論されています。改革が必要ということでは一致していても現実の會議の運営は旧態依然たるものです。大きな方針の変更は2年毎の世界總會の主催を開催地の誰かが集會会長となるのではなく本部が学会支援業者を介してICSのPresidentが行なうという方式であります。請負業者は既に決まっております、學術プログラム編成以外はすべてこの業者が仕切るようであります。また本部の運営経費については強力な支援者が出てくるようで理事會は樂觀的な雰囲気になっております。しかしながら會費の徴収は益々難しい状況になっているようであり、日本は問題ないのですが他のアジア諸国は難しい状況となっております。

今後、専門領域その他を含めた全てのFellowの名簿を見ることが出来るような内容を本部ホームページに増やすように日本部会としてサポートすることになりました。また単に學術集團というだけでなく、世界の外科医療の現状についての情報を把握し、質の良い外科医療の提供のみでなく、外科医の立場が守られるような行政が行なわれるように社会活動も進めるべきと主張しています。今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。

日本部会関連

1. 第53回日本部会總會

(1) 總會の様子 於:京都

第53回日本部会總會は、山岸久一教授(京都府立医科大学)總會会長のもと、2007年6月9日、10日に京都ウエスティンホテル京都において開催されました。また本總會は、第17回Asia-Pacific Federation Joint Meetingとしても共催されました。ICS本部からも、Fidel Ruiz-Healy World Presidentが、“Challenges of Surgeons Past, Present and Future”という特別講演を、Christopher Chen ICS World President Electが“Male Infertility And The Varicocele”という特別講演を、さらにエクアドルから、Jose Miguel Alvearが“Unusual Iatrogenic Lesions And Complications of The Biliary Tree”という特別講演を頂きました。一般演題は84題もの演題が発表され、内28演題は海外からの演題でした。また同時に48演題の口演も発表されました。今回はアジア-パシフィックとの合同開催との事で、通年のような外国人コメンテータによる発表についてのコメントやサジェスションはありませんでしたが、海外から多くの方々が来日され、活発なディスカッションが行われておりました。

本會の開催は山岸久一教授はじめ、京都府立医科大学外科学教室の先生方のご尽力によるものでした。



(2) 議事録報告 平成19年度国際外科学会日本部会理事・幹事会議事録(要約)**1. 事務報告・会計報告:山本常任幹事が報告。(会計報告は別添参照)**

平成19年3月31日現在、日本部会会員は382名。(前年比 5名減)

物故された故浜野恭一先生、故加藤幸一先生のご冥福を祈って黙祷した。

2. Hall of Fame選定委員会の結果報告:兼松委員長が報告。**1) 進行状況報告**

被推薦者として、故中山恒明先生、鍋谷欣市先生のグループ、岡林秀一先生、高田忠敬先生、石井延久先生が挙げられた。以上の諸先生方のうちHall of Fameにどなたを認定するかは、今しばらく検討する時間が必要との報告があった。今後の課題として、認定基準を明文化する必要などが挙げられた。

3. 新役員、役員異動、委員会再編について落合常任理事が報告。

監事、常任理事、幹事、顧問に新役員及び異動があった。(別紙参照)

4. 会計報告

別添参照

5. 審議事項

炭山財務委員長より財務状況、企業からの賛助会員、寄付、広告掲載料について報告があった。

砂川常任理事より会則の変更について報告があった。(定款参照)

事務局よりオンラインによる年会費支払い方法について報告があった。

6. 日本部会名誉会員の推薦

本会の為に、永年にわたり、ご尽力頂いた次の先生方が推薦されました。

玉置哲也先生(和歌山労災病院 院長)

平澤泰介先生(明治鍼灸大学大学院 教授)

7. 第54回日本部会総会会長:砂川正勝(独協医科大学第1外科教授)

平成20年6月に京王プラザホテルにて開催予定

(3) 会計報告**経常収入の部**

科目	平成18年度予算案	平成18年度実績	平成19年度予算案
前期繰越	9,056,496	9,056,496	8,915,954
会費収入	5,250,000	4,764,900	4,560,000
企業寄付収入	4,500,000	1,550,000	3,800,000
顕賞寄付収入	0	0	200,000
個人寄付収入	0	1,000,000	0
広告収入	200,000	600,000	600,000
受取利息等	10,000	5,922	500
	19,016,496	16,977,318	18,076,454

経常支出の部

1.米国本部送金

科目	平成18年度予算案	平成18年度実績	平成19年度予算案
入会金	80,000	80,000	32,000
会費	3,384,000	2,651,290	3,222,120
	3,464,000	2,731,290	3,254,120

2.日本部会運営費

科目	平成18年度予算案	平成18年度実績	平成19年度予算案
日本部会総会補助費	1,000,000	500,000	1,000,000
日本部会奨学金	200,000	200,000	0
会議費	200,000	78,300	200,000
国際会議出張費	100,000	0	0
慶弔費	200,000	21,000	50,000
会員管理システム導入 <small>(旧1839年度のみ)</small>	450,000	262,500	0
会員管理システム利用料&委託管理費	300,000	231,263	718,410
交通費	100,000	100,970	80,000
会計顧問料	222,222	111,111	111,111
派遣スタッフ費	2,000,000	2,051,135	1,680,000
HP広報費	450,000	148,000	250,000
通信費	300,000	261,001	250,000
印刷コピー費	500,000	257,218	300,000
備品消耗品	80,000	74,245	60,000
支払手数料	50,000	11,231	30,000
雑費	0	23,000	0
博物館維持費	1,000,000	1,000,000	1,000,000
博物館プレート代	200,000	199,090	200,000
博物館プレート代(日本整形外科学会より振込)		-200,000	
流動負債		10	
小計	7,352,222	5,330,074	5,929,521
1+2の計	10,816,222	8,061,364	9,183,641

次期繰越

8,200,274	8,915,954	8,892,813
-----------	-----------	-----------

【次期繰越の内訳】

三菱東京UFJ普通口座	1,372,709
郵便振替口座	71,017
三菱東京UFJ賛助口	2,012,228
郵便定期預金	5,460,000

(4) “2007 Young Investigator Award” 受賞者

学会賞は次の先生方に決定致しました。受賞者は氏名、所属、発表演題名が、国際外科学会シカゴ本部-外科歴史博物館「日本外科殿堂」の銅版に刻まれ顕彰される予定です

1. Dr. Koutarou Maeda

Fujita Health University

"Exfoliated Cancer Cells during Intersphincteric Resection for Very low Rectal Cancer"

2. Dr. Tsuyoshi Etoh

Oita University Faculty of Medicine

"Multicenter Studies of Laparoscopic Surgery for Advanced Colorectal Cancer in Japan"

3. Dr. Hidehiro Tajima

Kanazawa University

"Tumor-derived Trypsin Enhances the Growth and Invasion of Human Pancreatic Cancer Cells through PAR-2 Activation"

(5) 第54回国際外科学会日本部会総会のご案内

この度高崎健会長、学会役員の諸先生のご推挙により、「すべてメスを持つ者」(一般外科、消化器外科、胸部外科、心臓血管外科、泌尿器科、脳神経外科、整形外科、形成外科、小児外科、耳鼻咽喉科、眼科、麻酔科)が集う上記学会をお世話させていただく事になりました。

国際外科学会(略称ICS)は1935年にジュネーブで設立された後、1954年に日本支部が組織され、若手医師の国際学会発表の登竜門、国際交流、生涯教育を掲げ、着実に成果を挙げてまいりました。特に国際性豊かな医師を育成するために、学術集会の運営・進行を全て英語で行い、Native English Commentatorによる指導制度を導入し、国内の他の学会に類を見ない先進的方法として高い評価を得ております。今回もこの方法を採用し、さらにDiscusserをあらかじめ指定し、活発な討論を行い、実りある学術集会にしたいと考えておりますので宜しく願い申し上げます。

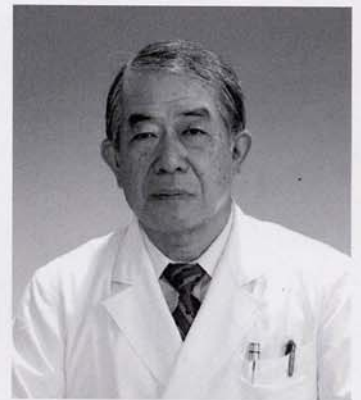
また、優秀な演題には“Young Investigator Awards”として本部シカゴの博物館内の「日本外科殿堂」に学賞者の名前と発表タイトルを刻んだプレートが設置されることになっております。

多くの若手医師とベテラン医師が一堂に会し、活発な英語による学術集会がおこなわれますよう、皆様のご参加をお願いする次第であります。

会期:平成20年6月7日(土)

場所:京王プラザホテル

演題登録期間:平成20年1月16日(水)~2月29日(金)【予定】



総会会長 砂川正勝 (獨協医科大学第1外科)

(6) 日本部役員・各種委員会 (2007-2008)

(*印 2007-2008 シカゴ本部役員兼任)

- 名誉会長 故中山 恒明 (中山がん研究所)
 会長 高崎 健 (東京女子医科大学名誉教授)
 前会長 掛川 暉夫 (福祉国際親善総合病院院長)
 監事 新) 麻生 武志 (東京医歯科大学大学院医歯学総合研究科〔産婦人科〕教授)
 *新) 冲永 功太 (帝京大学医学部外科教授)
 筆頭理事 北島 政樹 (国際医療福祉大学三田病院院長)
- 常任理事 跡見 裕 (杏林大学医学部第1外科教授)
 石井 延久 (東邦大学医学部泌尿器科教授)
 落合 和徳 (東京慈恵会医科大学産婦人科教授)
 *炭山 嘉伸 (東邦大学医学部第3外科教授)
 *平澤 博之 (千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学教授)
 藤岡 知昭 (岩手医科大学泌尿器科教授)
 村井 勝 (慶応義塾大学医学部泌尿器科教授)
 加藤 治文 (東京医科大学外科第一講座教授)
 原口 義座 (国立病院東京災害医療センター)
 上田 守三 (東邦大学医学部脳神経外科教授)
 新) 山岸 久一 (京都府立医科大学 学長)
 新) 兼松 隆之 (長崎大学医学部第2外科教授)
 新) 亀岡 信悟 (東京女子医科大学第2外科教授)
 新) 白水 和雄 (久留米大学医学部外科教授)
 新) 砂川 正勝 (独協医科大学医学部第1外科教授)
- 常任幹事 山本 雅一 (東京女子医科大学消化器外科教授)
- 理事 岩井 武尚 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医学部血流・血管応用外科学教授)
 落合 武徳 (三愛記念そが病院消化器病センター長)
 小林 展章 (愛媛大学医学部第1外科教授)
 坂本 純一 (名古屋大学大学院医学系研究科社会生命科学講座教授)
 田中 紀章 (岡山大学大学院医歯総合研究科消化器・腫瘍外科分野教授)
 土屋 了介 (国立がんセンター中央病院外科)
 畑瀬 哲郎 (公立八女総合病院)
 平田 公一 (札幌医科大学第1外科教授)
 平野 達雄 (センタービルクリニック)
 幕内 雅敏 (日本赤十字社医療センター院長)
 益子 邦洋 (日本医科大学附属千葉北総病院救急医学部)
 杉山 徹 (岩手医科大産婦人科教授)
 前田耕太郎 (藤田保健衛生大外科教授)
 新) 有井 滋樹 (東京医科歯科大学分子外科治療学教授)
 新) 安田 秀喜 (帝京大学ちば総合医療センター外科教授)
 新) 竹下 公矢 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科光学医療診療部助教授)

- 幹事
- 安藤 暢敏 (東京歯科大学市川病院外科教授)
 - 苛原 稔 (徳島大学医学部産婦人科教授)
 - 緒方 裕 (久留米大学医学部第1外科助教授)
 - 桜木 範明 (北海道大学大学院医学研究科生殖・発達医学教授)
 - 篠沢洋太郎 (東北大学大学院医学系研究科・医学部麻酔救急医学教授)
 - 高木 正剛 (聖ヨゼフクリニック)
 - 高山 忠利 (日本大学医学部消化器外科教授)
 - 丹治 進 (岩手医科大学泌尿器科)
 - 寺本 龍生 (東邦大学医学部第一外科教授)
 - 松本 純夫 (国立病院機構東京医療センター)
 - 丸山 一男 (三重大学医学部麻酔科教授)
 - 山口 明夫 (福井医科大学第1外科教授)
 - 青柳慶史朗 (久留米大学医学部外科)
 - 新) 大坪 毅人 (聖マリアンナ医科大学消化器外科教授)
 - 齊田 芳久 (東邦大学医療センター大橋病院第3外科講師)
 - 新) 山崎 将人 (帝京大学市原病院外科)

- 事務局幹事
- 清水 公一 (新板橋クリニック院長)
 - 小寺 由人 (東京女子医科大学消化器外科助手)

- 顧問
- 阿部 令彦 (聖路加国際病院顧問)
 - 遠藤 光夫 (東京医科歯科大学医学部名誉教授)
 - 田中 隆 (日本大学医学部名誉教授)
 - 鍋谷 欣市 (杏林大学医学部名誉教授)
 - J. P. Barron (東京医科大学国際医療情報センター教授)
 - 新) 平澤 泰介 (明治鍼灸大学大学院教授)

- 第53回総会会長 山岸 久一 (京都府立医科大学学長)
- 第53回総会幹事 大坪 英吾 (京都府立医科大学外科教授)
- 第53回総会幹事 岡本 和真 (京都府立医科大学外科)
- 第54回総会会長 砂川 正勝 (独協医科大学第1外科教授)
- 第54回総会幹事 佐々木 欣郎 (獨協医科大学第1外科)

<役員辞退>

理事 豊坂 昭弘 (宝塚第一病院院長)
 幹事 角田 司 (川崎医科大学消化器外科教授)

<ICS退会役員>

常任理事 高田 忠敬* (帝京大学医学部外科教授)
 常任理事 笹子 三津留 (国立がんセンター)
 理事 真辺 忠夫 (名古屋市立大学大学院医学研究科・医学部病態外科学教授)
 理事 阿部 宗昭 (大阪医科大学医学部整形外科教授)
 幹事 入山 圭二 (桑名市民病院院長)

1) 組織委員会 (旧:人事委員会)

委員長 落合 和徳 常任理事
 委員 安田 秀喜 理事
 委員 有井 茂樹 理事
 委員 平田 公一 理事
 委員 田中 紀章 理事

2) 財務委員会

委員長 炭山 嘉伸 常任理事
 委員 白水 和雄 常任理事
 委員 亀岡 信吾 常任理事
 委員 岩井 武尚 理事
 委員 斉田 芳久 幹事

3) 規約委員会

委員長 砂川 正勝 常任理事
 委員 竹下 公矢 常任理事
 委員 上田 守三 常任理事
 委員 安藤 暢敏 幹事
 委員 大坪 毅人 幹事

4) Japan Hall of Fame 選考委員会

委員長 兼松 隆之 常任理事
 委員 跡見 裕 常任理事 (消化器外科)
 委員 上田 守三 常任理事 (脳神経外科)
 委員 石井 延久 常任理事 (泌尿器科)
 委員 麻生 武志 常任理事 (産婦人科)
 委員 加藤 治文 常任理事 (呼吸器外科)
 委員 落合 和徳 常任理事 (産婦人科)
 委員 平澤 博之 常任理事 (救急外科)
 委員 岩井 武尚 理事 (心臓血管外科)
 委員 落合 武徳 理事 (移植外科)
 委員 丸山 一男 幹事 (麻酔科)

5) 総合検討委員会

委員長 高崎 健 会長
 委員 北島 政樹 筆頭理事
 委員 加藤 治文 常任理事
 委員 落合 武徳 常任理事
 委員 村井 勝 常任理事
 委員 石井 延久 常任理事
 委員 藤岡 知昭 常任理事
 委員 原口 義座 常任理事
 委員 土屋 了介 理事
 委員 武田 仁良

(7) 国際外科学会日本部会定款

(目的)

第1条

本会は国際外科学会の日本部会であって、外科医学の進歩発展を図り、医師の生涯教育を行うことを主旨とし、国際団体を通じて世界の各国と知識の交流を図ることを目的とする。

(名称)

第2条

本会は国際外科学会日本部会(以下、本会)と称する。

(会員)

第3条

会員は、正会員(Fellow登録あるものは、Fellow会員、Fellow登録ないものは非Fellow会員)、シカゴ本部名誉会員、日本名誉会員、日本特別会員、及び、賛助会員からなる。賛助会員はその代表者の名前で登録する。

第4条

正会員及び賛助会員として入会を希望する者は、別に定める細則に従い、本会規定の申込書に所定事項を記載し本会事務局に申込む。

第5条

本会のために特に功労のあったものが原則として70歳となったとき、日本名誉会員、日本特別会員となることができる。日本名誉会員、日本特別会員は会長が推薦し、総会の承認を受ける。

第6条

退会者は必ずその旨を本会事務局に届け出るものとする。

(役員)

第7条

本会は次の役員を置く。

会長:1名 理事:若干名 幹事:若干名 監事:若干名 顧問:若干名 総会会長:1名

第8条

会長は理事会で推挙され、総会において承認を受ける。理事、監事、幹事は会長が正会員の中から委嘱し、その任期は2年で再任を妨げない。役員任期は、4月1日から2年後の3月31日までとする。

会長は理事の中から若干名の常任理事を指名する。総会会長は正会員の中から理事会が推薦し、総会の承認を受ける。任期は1年で再任を認めない。原則として70歳以上の者は役職につかない。但し会長を除く。

第9条

会長及び理事、監事、幹事、総会会長は総べて奉仕とする。

第10条

会長は本会を代表し、これを総括する。会長に支障がある場合は、常任理事が互選で代行者を選び、これを代行する。

第11条

理事は会長を補佐し、本会の一切の役務を処理する。幹事は理事を補佐する。

第12条

監事は本会の業務を監査する。

第13条

総会会長は学術集会を主催する。

(国際外科学会Fellow、国際外科学会名誉会員)

第14条

国際学会Fellowは本会の正会員であり、よって登録は第4条に準ずる。国際外科学会名誉会員は「シカゴ本部名誉会員」と称し、会長が推薦し本部に申請し決定を受ける。

(会費)

第15条

会費は別に定める細則により年会費を納入する。

(会計年度)

第16条

本会の会計年度は4月1日より翌年の3月31日までとする。事務局は監事による監査手続きを終了し、理事会及び総会に会計報告をする。

(旧15条は削除)

(日本部会総会)

第17条

本会総会は下記の規定による。

<総会規定>

第1項 毎年1回本会総会を開催する。

第2項 本会総会構成は会員をもってする。

第3項 学術総会の発表は会員に限る。但し、会員以外の者でも総会会長の許可を得れば学術総会において発表することができる。

(国際総会及び外国部会への出席)

第18条

国際総会、連合部会及びその他の各国の部会に出席しようとする本会の会員は、主催者側が指定する期日迄に抄録を添えて直接申し込むこととする。会長、理事もしくは幹事の外国部会への出席については、本会より補助することができる。

(定款の変更)

第19条

本定款の変更を要することがあれば、理事会に於いて決定し、本会総会に於いて承認を受ける。

(事務局)

第20条

本会事務局は東京女子医科大学、消化器病センター内に置く。

直通電話/Fax:(03)3358-1424 代表電話:(03)3353-8111(内線:25229)

e-mail: ics-japan@info.email.ne.jp http://www.ics-japan.org/

細則1 1) Fellow会員の会費は、学会誌(Journal)の受取方法により以下から会員が選ぶことができる。

①電子ファイルのみで希望する会員の場合、15,000円(本部との連絡可能なe-mail address登録必要。事務局経由で申込む。)

②電子ファイル&郵送共に希望、または郵送のみ希望の場合、20,000円。

役員も、①か②のいずれかを選択する。

2) 非Fellow会員は年会費5,000円を納める。

いずれも途中退会するものの会費は返却しない。2年以上会費滞納の会員は退会とするが、その2年間の会費を完納しなければならない。

2 賛助会員は年会費10万円(1口)を納める。賛助会員はその特典として、本会のホームページや「日本部会ニュース」に広告掲載の申込みができる。但し、2年以上会費滞納の場合は退会とみなす。また途中退会する者の会費は返却しない。

3 正会員及び賛助会員の申込みは、会長(Section President)及び常任幹事(Section Secretary)の承認を受ける。正会員については事務局が本部に登録申請を行う。但し、日本国籍を有する者に限る。また初年度のみシカゴ本部より請求があるcertificate発行代金@4,000円(送金手数料込み)を年会費に加えて会員本人が負担する。

4 日本名誉会員、日本特別会員の日本部会の年会費は免除する。しかし、国際外科学会Fellow資格保持を希望する場合は、本部送金の必要があるため、Fellow代金として、10,000円を納入する。

付則

本定款は昭和54年2月10日より実施する。

昭和63年9月24日より一部改正。

平成元年9月22日より一部改正。

平成8年1月1日より一部改正。

平成11年11月6日より一部改正。

平成12年11月11日より一部改正。

平成17年5月28日より一部改正。

平成18年6月4日より一部改正。

平成19年6月11日より一部改正。

申し合わせ事項

1 日本名誉会員は総会会長及びシカゴ本部役員の実験者で長期に亘り会に功労があり、且つ原則として、70歳になった時に、会長が推薦する。

2 日本特別会員は役員として功労があり、原則として70歳になった時、会長が推薦する。

3 顧問は、シカゴ本部名誉会員、日本名誉会員、日本特別会員の中から、特に日本部会の運営に指導的立場をいただく方を会長が推薦し、常任理事会、理事・幹事会に出席していただく。ただし議決権はない。

4 会議の構成。

委員会:委員長、委員、会長(議決権なし)、顧問(議決権なし)

常任理事会:会長、筆頭理事、常任理事、常任幹事、監事(議決権なし)、顧問(議決権なし)

理事・幹事会:会長、筆頭理事、常任理事、理事、常任幹事、幹事、監事(議決権なし)、顧問(議決権なし)

本申し合わせ事項は、

平成5年1月1日より実施する。

平成11年11月6日より一部改正。

平成12年11月11日より一部改正。

平成18年6月4日より一部改正。

シカゴ本部関連

1. 第36回世界総会

XXXVI Biennial World Congress of the International College of Surgeons

日時：2008年12月3～6日

会場：ウィーン(オーストリア) Hilton Vienna

抄録受付開始：2008年2月15日

抄録受付締切：2008年6月25日

詳細は日本部会ホームページをご覧ください。 <http://www.ics-japan.org/>

2. シカゴ本部役員

International Executive Council Members

World President	Dr. Fidel Ruiz-Healy, Mexico
President Elect	Prof. Christopher Chen, Singapore
Immediate Past President	Prof. Nadey Hakim, England
First Vice President	Prof. Narendra Pandya, India
Corporate Secretary	Dr. Said Dae, USA
Treasurer	Dr. Carmencita Gotauco, Philippines

Six Federation Secretaries

Africa	Prof. Adel Ramzy, Egypt
Asia	Prof. Ken Takasaki, Japan
Europe	Prof. Rocco Maruotti, Italy
Latin America	Dr. Manuel Huaman, Peru
North America	Dr. Enrico Nicolo, USA
Pacific	Dr. Nopadol Wora-Urai, Thailand

4 Additional Members (Term 2004-2008)

Dr. H. S. Bhanushali, India
Dr. Phillys Bleck, USA
Prof. Dirk Loose, Germany
Dr. Vithya Vanathophas, Thailand

3 Additional Members (Term 2007-2010)

Prof. Felipe de la Cruz Vigo, Spain
Prof. Jose M. Alvear, Ecuador
Dr. Adib Sabbagh, USA

16 Vice Presidents

Dr. Jose Bachicha, USA	Dr. Eddie Chang, Singapore
Dr. Clement Chan, Hong-Kong	Prof. Antonio Gentil Martins, Portugal

Prof. Paul Hahnloser, Switzerland
Prof. Yik-Hong Ho, Australia
Dr. Paulo Kassab, Brazil
Prof. Peter Lim, Singapore
Dr. Vijay Mittal, USA
Dr. N. K. Pandey, India

Dr. Arno Roscher, USA
Dr. Sibu Saha, USA
Dr. Nicasio Salang, Philippines
Dr. Larry Sasaki, USA
Dr. Preecha Siritongtaworn, Thailand
Dr. Wickii Vigneswaran, USA

30 Additional Governors

Dr. Jose D. Araujo, Portugal
Dr. Roberto Bonelli, Argentina
Dr. Edouard Bontemps, Haiti
Dr. Italo Braghetto, Chile
Dr. Gabriel Bucio, Mexico
Dr. Maxime Coles, USA
Dr. N. Dorairajan, India
Dr. George Fayad, England
Dr. John Fournier, USA
Prof. Alberto del Genio, Italy
Dr. Luis Hernandez-Ortega, Mexico
Prof. Refaat R. Kamel, Jr., Egypt
Dr. Ming-Chien Kao, Taiwan
Prof. Jacques Lambert, Canada
Dr. Ernest Lim, Singapore

Dr. Jerry Mitchell, USA
Dr. Marco Montorsi, Italy
Dr. Augustine Obiora, Nigeria
Dr. Hugo Pardo, Argentina
Dr. Petar Petricevic, Serbia & Mont
Dr. Roque Ramirez, USA
Dr. Dinesh Ranjan, USA
Dr. Victor Ruiz-Castro, Costa Rica
Dr. Leo Stam, Netherlands
Prof. Tetsuya Tamaki, Japan
Dr. Joel Teplinsky, USA
Dr. Gia Tomadze, Georgia
Prof. Helge Wenzl, Germany
Dr. Rudi Yuwana, Indonesia

シカゴ本部各種委員会：

Finance, Auditing and Budget

炭山 嘉伸(東邦大学医学部外科学第3講座教授)

Grievance, Judiciary and Ethical Relations

平澤 博之(千葉大学大学院医学研究院救急集中治療医学教授)

CME, Surgical Training by Surgical Teams

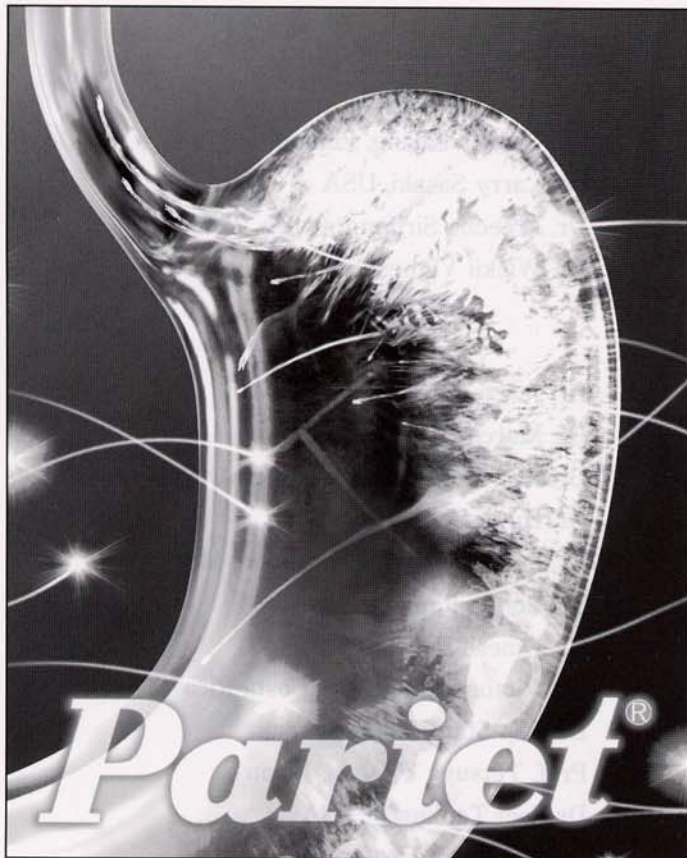
沖永 功太(帝京大学医学部外科教授)

Research and Scholarship

玉置 哲也(和歌山労災病院院長)

3. “The ICS Asian & Pacific Federations Section Presidents Meeting” 報告

2007年6月9日にウエスティン都ホテル京都にてアジア-パシフィックの会議がChristopher Chen ICS World President Electを交えて開催された。アジアSectionとパシフィックSectionが交互に2年毎にHost国を指名し責任を負う事が確認された。



指定医薬品・処方せん医薬品*
プロトンポンプ阻害剤

〔薬価基準収載〕

パリエット® 錠10mg
錠20mg

〈ラベプラゾールナトリウム製剤〉

* 注意—医師等の処方せんにより使用すること

●効能・効果、用法・用量及び禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元

h/w/e
ヒューマン・ヘルスケア企業



イーザイ株式会社

〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10
<http://www.eisai.co.jp>

商品情報お問い合わせ先：イーザイ株式会社 お客様ホットライン室
☎0120-419-497 9～18時(土、日、祝日 9～17時)

PT0504-7 2005年4月作成

中外製薬

ロシュグループ

at the Front Line
CHUGAI ONCOLOGY

5-HT₃受容体拮抗型制吐剤
劇薬、指定医薬品、処方せん医薬品^{注)}

〔薬価基準収載〕

カイトリル®
KYTRIL® 塩酸グラニセトロン製剤

注 1mg・3mg
点滴静注用 3mgバッグ
錠 1mg・2mg 細粒 0.4%

注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること



※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意、用法・用量に関連する使用上の注意等については製品添付文書をご参照ください。
<http://www.chugai-pharm.co.jp>

〔資料請求先〕

製造販売元 中外製薬株式会社

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1

2006年6月作成



環元型薬酸製剤
処方せん医薬品^{※1}

薬価基準収載

ユ-ゼル[®]錠25mg

UZEL[®] tablet 25mg 一般名:ホリナートカルシウム錠

注) 注意-医師等の処方せんにより使用すること

「効能・効果」、「用法・用量」、「警告・禁忌を含む使用上の注意」につきましては製品添付文書をご参照下さい。

資料請求先
製造販売元
(医薬品情報室)



大鵬薬品工業株式会社
〒101-8444 東京都千代田区神田錦町1-27
TEL 03-3293-4508
<http://www.taiho.co.jp/>



短時間作用型β₁選択的遮断剤

劇薬
指定医薬品
処方せん医薬品^{※1}

注射用オノアクト[®]50

注射用塩酸ランジオロール

ONOACT[®]

注) 注意-医師等の処方せんにより使用すること。

薬価基準収載

資料請求先



小野薬品工業株式会社

〒541-8564 大阪市中央区久太郎町1丁目8番2号

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等、
詳細は製品添付文書をご参照ください。

050401

TOSHIBA

IMAGING INNOVATION



1915 X線管(ギノX線管)完成



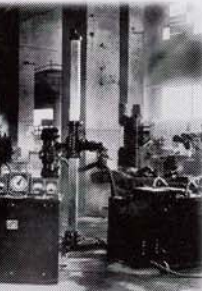
1953 コバルト治療装置
(RIT-1形)完成(日本初)



1960 わが国初のX線テレビ装置



1976 電子走査超音波診断
装置(SSL-53H)完成



1946 戦後第1号X線装置
(KXO-8形)完成



2005 0.5mmスライス×64列(Aquilion64)発売(世界初)



1995 CT技術「リアルテクノロジー」
開発(世界初)

イメージングイノベーションは いつも東芝から。

東芝は、わが国で初めてX線管の研究に着手して以来
時代のクリニカルニーズに応える
画期的な新技術をいち早く実用化し
医用機器の歴史を次々と塗り替えてきました。
東芝の研究室でデビューを待つ
次世代の医用機器もまた、
21世紀のスタンダードになるにちがいありません。

東芝メディカルシステムズ株式会社

本社 〒324-8550 栃木県大田原市下石上1385番地
お問い合わせ先 03-3818-2170(東京本社)
<http://www.toshiba-medical.co.jp>



抗悪性腫瘍剤 毒薬・指定医薬品・処方せん医薬品*

薬価基準収載

動注用アイエーコール® 50・100mg

シスプラチン製剤 *注意-医師等の処方せんにより使用すること

IA-call® 50・100mg

資料請求先

 **日本化薬株式会社**
東京都千代田区富士見一丁目11番2号

警告、禁忌、原則禁忌を
含む使用上の注意の改
訂に十分ご留意ください。

2005年6月作成

※警告、禁忌、原則禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意などは、製品添付文書をご参照ください。

薬価基準収載



坂城工場

ただひとつの薬が
愛されつづける理由

生菌製剤

ミヤBM[®]細粒

MIYA-BM[®] FINE GRANULES

酪酸菌(宮入菌)製剤

生菌製剤

ミヤBM[®]錠

MIYA-BM[®] TABLETS

酪酸菌(宮入菌)製剤

効能・効果、用法・用量、使用上の注意等につきましては、製品添付文書をご参照ください。



ミヤリサン製薬株式会社

長野県埴科郡坂城町中之条102番地15

資料請求先：東京都北区上中里1-10-3

本社学術開発部

URL <http://www.miyarisansan.com>

TEL 03-3917-1191

FAX 03-3940-1140

ヤクルト医薬品

薬価基準収載

抗悪性腫瘍剤(塩酸イリノテカン注)
劇薬・指定医薬品・処方せん医薬品※

カンプト[®]注

抗悪性腫瘍剤(オキサリプラチン注射用)
毒薬・指定医薬品・処方せん医薬品※

**エルプラット[®] 注射用
100mg**

5-HT₃受容体拮抗型制吐剤(塩酸インジセロン錠)
劇薬・指定医薬品・処方せん医薬品※

シンセロン[®]錠 8mg

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

●「効能・効果」「用法・用量」「警告」「禁忌」「使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

〈資料請求先〉 株式会社ヤクルト本社

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-21 銀座木挽ビル TEL:03(5550)8964(医薬品部)

2006.10

隔壁を開通してから使用すること



高カロリー輸液用 糖・電解質・アミノ酸・総合ビタミン液

指定医薬品、処方せん医薬品* 薬価基準収載

ネオパレン® 1号

*：注意—医師等の処方せんにより使用すること

指定医薬品、処方せん医薬品* 薬価基準収載

ネオパレン® 2号

*：注意—医師等の処方せんにより使用すること

NEOPAREN®

◇効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、製品添付文書をご参照ください。



販売提携
大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

製造販売元
株式会社 大塚製薬工場
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115

資料請求先
株式会社 大塚製薬工場 学術部
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-6 司町ビル3F

(05.10作成)



ニューキノロン系注射用抗菌剤

シプロキサ[®]ン注

200mg, 300mg CFX シプロフロキサシン 薬価基準収載

指定医薬品 処方せん医薬品 注意—医師等の処方せんにより使用すること。

効能・効果、用法・用量、禁忌、使用上の注意等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

資料請求先：學術情報
バイエル薬品株式会社
大阪市淀川区宮前3-5-36 〒532-8577
<http://www.bayer.co.jp/byl>



Bayer HealthCare